

施策名：安心で質の高い医療サービスの充実

事業名	担当課・室名	ページ
へき地医療対策事業	医療政策課	1 / 13
医師確保総合対策事業(旧医師確保緊急対策事業)	医療政策課	2 / 13
おおいた医学生修学サポート事業	医療政策課	3 / 13
医療機関医師等支援事業	医療政策課	4 / 13
地域医療教育・研修推進事業	医療政策課	5 / 13
地域医療従事者確保・養成事業	医療政策課	6 / 13
看護職員就業・定着促進事業	医療政策課	7 / 13
在宅医療を支える看護職員確保定着事業	医療政策課	8 / 13
ドクターヘリ運航事業	医療政策課	9 / 13
県立病院精神医療センター整備事業	障害福祉課	10 / 13
精神科救急医療システム整備事業	障害福祉課	11 / 13
難病特別対策推進事業	健康づくり支援課	12 / 13
県立病院対策事業(県立病院)	医療政策課	13 / 13

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	へき地医療対策事業		事業期間	昭和36年度～平成 年度	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～	
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実	
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	医療政策課	評価者	医療政策課長 廣瀬 高博	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	医療を必要とする人がどこに住んでいても適切な医療サービスを受けられることが求められている。	事業の目的	医療に恵まれない地域の人々が適切に医療を受けられるよう、へき地における医療提供体制を整備する。
-------	---	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①医療施設等設備整備補助 へき地医療拠点病院等の必要な医療機器の整備に対する助成(4か所)	①	51,532	総コスト	52,278	101,568	124,032
②へき地医療拠点病院・へき地診療所運営費補助 へき地医療拠点病院の巡回診療、代診医等派遣に対する助成(17か所)	②	40,110	事業費	43,278	92,568	115,032
へき地診療所の医療提供体制確保に対する助成(2か所)	③	764	(うち一般財源)	16,180	38,054	46,926
③へき地患者輸送車運行事業費補助 へき地における患者輸送車運行に対する助成(2か所)	④	497	人件費	9,000	9,000	9,000
④へき地医療支援機構運営事業 へき地医療支援に係る調整、代診医等派遣調整(77回)	計	92,903	職員数(人)	0.90	0.90	0.90

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	医療機器等購入補助を行った医療機関数(施設)	目標値	2	4	6			55%	患者輸送車運行事業費補助を行った事業者数(事業者)	目標値	1	2	1		
	実績値	2	4					実績値	1	2					
	達成率	100.0%	100.0%					達成率	100.0%	100.0%					
巡回診療、代診医等派遣を実施した医療機関数(施設)	目標値	18	18	19			43%	代診医等派遣要請対応率(%)	目標値	100	100	100		1%	
	実績値	18	17					実績値	100	100					
	達成率	100.0%	94.4%					達成率	100.0%	100.0%					

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
へき地医療拠点病院による代診医等派遣、巡回診療の実施回数(回)※回数増加が目的ではないため、目標値未記入	目標値		409	417			a	へき地医療拠点病院が実施する巡回診療や代診医等派遣などにより無医地区等の住民の受療の機会が確保されるなど、地域の実情に応じたへき地医療が確保された。
	実績値		409	417				
	達成率		100.0%	100.0%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>へき地における医療提供体制の維持</li> <li>へき地医療支援機構専任担当官の不在</li> </ul>	今後の事業方針 ・へき地診療所への代診医等派遣調整や、へき地医療を支える医療施設の運営や設備整備に対する助成などによって、へき地における医療提供体制を維持				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	医師確保総合対策事業 (旧医師確保緊急対策事業)		事業期間	平成19年度～平成 年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～				
	C			事業実施課(室)名	医療政策課		施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実			
総合評価	継続・見直し		事業実施課(室)名		医療政策課		評価者	医療政策課長 廣瀬 高博			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	医師の地域偏在や特定診療科における医師不足が課題となっており、県内各地域における医療提供体制の確保が求められている。	事業の目的	地域の中核的な病院の地域偏在及び医師不足に対応するため、大学や地域中核病院等と連携して地域医療を担う医師を育成・確保する。
-------	--	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①後期研修医に対する研修資金の貸与 特定診療科及び地域の指定病院で後期研修を行う医師への修学資金貸与(貸与中21名)	①	50,565	総コスト	35,952	34,160	71,853
②小児科・産婦人科等医師研修支援 小児科・産婦人科及び地域中核病院に勤務する医師の研修費用助成(実施病院1病院、派遣医師4名)	②	18,090	事業費	33,952	32,160	69,853
③臨床研修病院合同説明会の開催 医学生を対象とした県内12臨床研修病院の合同説明会を開催	③	491	(うち一般財源)	20,152	665	663
④「ドクターバンクおおいた」の運営 医師の無料職業紹介所「ドクターバンクおおいた」の運営	④	368	人件費	2,000	2,000	2,000
	計	69,514	職員数(人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
活動指標	研修資金貸与中医師数(人)	目標値	28	28	28		73%	臨床研修病院合同説明会参加人数(人)	目標値	50	50	50		1%	C
		実績値	19	21					実績値	40	46				
		達成率	67.9%	75.0%					達成率	80.0%	92.0%				
	医師の研修派遣人数(人)	目標値	8	8	8		26%	医師求人情報の掲載施設数(施設)	目標値	28	28	31			
		実績値	4	4					実績値	28	31				
		達成率	50.0%	50.0%					達成率	100.0%	110.7%				

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
成果指標	研修資金貸与修了者(直近5年間)の県内定着人数(人)	目標値	28	33	35		a	勤務医師の診療技術修得のための研修支援を行い魅力ある病院づくりを促進するとともに、後期研修医に研修資金を貸与することで、医師の県内定着を図ることができた。
		実績値	28	31				
		達成率	100.0%	93.9%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・大学や医会、学会と連携した、貸与対象者に対する事業の周知	今後の事業方針 ・地域における医師の確保、偏在解消のため引き続き事業を実施 ・研修資金の貸与制度について、県内大学や地域中核病院に対する周知を強化				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	おおいた医学生修学サポート事業		事業期間	平成19年度～平成 年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～			
						施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	医療政策課		評価者	医療政策課長 廣瀬 高博			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	医師不足が顕在化している地域における医師の確保が求められている。	事業の目的	地域医療への貢献を志す県内出身医学生に対して修学資金を貸与することで、卒業後の県内定着を促進し、医師不足が顕在化している地域における医師確保を図る。
-------	----------------------------------	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①大分県医師修学資金の貸与 大分大学医学部地域枠入学者に対する修学資金貸与(77名) うち、2年生後期からの学士編入学生を対象とする学士編入地域枠(10名) 新入学生を対象とする特別選抜地域枠(67名)	①	103,123	総コスト	107,905	104,321	102,659
	②		事業費	105,905	102,321	100,659
	③		(うち一般財源)	59,623	91,528	100,659
	④		人件費	2,000	2,000	2,000
	計	103,123	職員数(人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	大分県医師修学資金貸与者(人)	目標値		77	77	78		100%	目標値						
	実績値		77	77				実績値							
	達成率		100.0%	100.0%				達成率							
	目標値							目標値							
	実績値							実績値							
	達成率							達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
地域枠卒業医師の地域勤務者数(人)	目標値		1	3	7		a	地域医療を担う医師を育成することにより、医師不足が顕在化している過疎地域等における医師を確保することができた。
	実績値		1	3				
	達成率		100.0%	100.0%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・地域枠卒業医師の地域への適正配置	今後の事業方針 ・地域医療に対して意欲のある学生を確保し、将来地域医療に従事する医師を養成する必要があることから、引き続き事業を実施				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	医療機関医師等支援事業		事業期間	平成21年度～平成 年度	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～	
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実	
総合評価	<b>B</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	医療政策課	評価者	医療政策課長 廣瀬 高博	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	産科医等の地域偏在の解消や、女性医師の出産・育児等のワークライフバランスの確保を図るため、産科医等や勤務医の勤務環境の改善が課題となっている。	事業の目的	産科医、勤務医等の処遇改善を図る病院等の取組に対する支援を行うことにより産科医や勤務医等の確保・定着を図る。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①産科医等確保支援事業 分娩手当の助成(28施設) ②短時間正規雇用支援事業 女性医師の出産・育児等と勤務との両立支援への助成(1施設)	①	30,310	総コスト	37,140	36,570	40,207
	②	5,823	事業費	34,140	33,570	37,207
	③		(うち一般財源)			
	④		人件費	3,000	3,000	3,000
	計	36,133	職員数(人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
分娩手当の助成を行った分娩取扱医療機関等(数)	目標値		30	30	28		84%	目標値						<b>a</b>	
	実績値		30	28				実績値							
	達成率		100.0%	93.3%				達成率							
	短時間正規雇用女性医師数(人)	目標値		3	3	3		16%	目標値						
		実績値		5	5				実績値						
		達成率		166.7%	166.7%				達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
分娩手当を支給する分娩取扱医療機関等(数)	目標値		38	36	35		<b>b</b>	地域でのお産を支える産科医等に対して、分娩手当の支給による処遇改善を支援することで、地域における産科医療体制を維持することができた。
	実績値		31	29				
	達成率		81.6%	80.6%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>分娩取扱医療機関等の確保</li> <li>医療機関等に対する短時間正規雇用支援の制度周知</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>全国的に分娩取扱医療機関等が減少している状況を鑑み、県医師会や産婦人科医会等と連携し、引き続き分娩手当の支給による処遇改善の支援等を推進</li> <li>分娩手当を支給していない医療機関等に対し個別に制度の周知・説明を行い、支援の拡大を推進</li> </ul>				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	地域医療教育・研修推進事業	事業期間	平成22年度～平成 年度	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～	
				施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実	
総合評価	<b>A</b>	継続・見直し	事業実施課(室)名	医療政策課	評価者	医療政策課長 廣瀬 高博

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	本県の医師数は、人口10万人あたりでみると全国水準を上回っているものの、地域的な偏在が大きく、地域医療を担える医師の育成・確保が求められている。	事業の目的	地域における医師不足を解消するため、大分大学医学部と連携して、地域医療を担う医師を育成する。
-------	--	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①地域医療支援センターの設置 県内の地域医療提供体制を把握・分析し、医師のキャリア形成や医師・医学生への情報発信・相談支援を実施 委託先：国立大学法人大分大学(医学部)	①	32,644	総コスト	47,648	47,999	50,640
	②	8,254	事業費	42,648	42,999	45,640
②地域医療研究研修センターの設置 豊後大野市民病院を拠点とした地域医療に関する実地指導等を実施 委託先：国立大学法人大分大学(医学部)	③	2,846	(うち一般財源)			
	④		人件費	5,000	5,000	5,000
③地域医療研修会の開催 医学生を対象に、へき地診療所等で体験研修を実施	計	43,744	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	医師・医学生等に対する講習会・研修会の開催・参加回数(回)	目標値	6	6	6				75%	地域医療研修会参加人数(人)	目標値	77	79	78	
	実績値	6	6						実績値	62	63				
	達成率	100.0%	100.0%						達成率	80.5%	79.7%				
医師・学生に対する相談支援数(人) ※人数増加が目的ではないため、目標値未記入	目標値	90	99				19%		目標値						
	実績値	90	99						実績値						
	達成率	100.0%	100.0%						達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	臨床研修を修了した地域卒業医師の県内医療機関への配置調整数(人)	目標値	3	7	12		a	大分大学医学部と連携し、地域医療研究研修センター及び地域医療支援センターを設置することで、医学生や研修医の段階からの地域医療現場での教育研修環境の整備を図るとともに、地域医療体制の分析や医師のキャリア形成支援等を実施することができた。
		実績値	3	7				
		達成率	100.0%	100.0%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域卒業医師のキャリア形成と地域医療提供体制構築の両立</li> <li>地域中核病院における即戦力医師の不足(地域卒業医師が地域勤務を開始するまで時間がかかる)</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>大分大学医学部と連携し、今後増えていく地域卒業医師のキャリア形成と地域貢献の両立を図り、県内定着を推進</li> <li>医師のU I J ターン促進による即戦力医師の確保</li> </ul>				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	地域医療従事者確保・養成事業		事業期間	平成27年度～平成 年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～			
						施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実			
総合評価	<b>B</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	医療政策課		評価者	医療政策課長 廣瀬 高博			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	医療の提供体制の整備のため、質の高い医療人材の育成や継続的な確保が課題となっている。	事業の目的	医療人材の育成や就業の促進、勤務環境の改善等を図る医療機関を支援することにより、質の高い医療人材を確保する。
-------	--	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①医療従事者の確保 質の高い医療人材確保対策や女性医療従事者のキャリアアップ対策等を実施	①	13,934	総コスト	16,620	25,343	16,578
②医療勤務環境改善支援センター運営事業 大分県医療勤務環境改善支援センターの設置(委託先：大分県医師会)	②	6,351	事業費	12,620	21,343	12,578
③救急・災害医療従事者養成事業 救急医療教育コース、災害医療教育コースの開催(1回)	③	3,622	(うち一般財源)			
	④		人件費	4,000	4,000	4,000
	計	23,907	職員数(人)	0.40	0.40	0.40

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価	
	へき地公立病院への巡回指導の実施(回/月)	目標値			5	6		58%	救急・災害医療従事者養成コースの開催(回)	目標値	2	2	2			15%
	実績値			6			実績値			2	1					
	達成率			120.0%			達成率			100.0%	50.0%					
勤務環境等に関する相談件数(件) ※件数増加が目的ではないため、目標値未記入	目標値		22	59			27%		目標値							
	実績値		22	59					実績値							
	達成率		100.0%	100.0%					達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
小児在宅メディカルスタッフ養成講習会の参加者数(人)	目標値		15	30	25		b	小児在宅医療に関する実技講習会を2回実施することで、医療従事者の小児在宅医療に関する技能の習熟に努めた。
	実績値		38	25				
	達成率		253.3%	83.3%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
・各種講習会等を開催することにより、質の高い医療人材を養成・確保	今後の事業方針 ・引き続き、各種講習会等を開催することにより、質の高い医療人材を養成・確保 ・平成29年度以降は県が医療勤務環境改善支援センターを直営				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	看護職員就業・定着促進事業		事業期間	平成24年度～平成 年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～		
	A			事業実施課(室)名	医療政策課		施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実	
総合評価	継続・見直し				評価者	医療政策課長 廣瀬 高博			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	<p>新人看護職員は、医療現場で必要とされる臨床実践能力と看護教育で習得する看護実践能力の間にかい離が生じており、早期離職につながっている。 看護職員の地域偏在のために、不足する地域での職員の負担が高くなり、離職につながっている。</p>	事業の目的	<p>新人看護職員に対する研修の充実や看護の地域ネットワークの強化等による離職防止対策により、看護職員の定着を図る。</p>
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①新人看護職員研修事業 新人看護職員の臨床実践能力を高めるための研修を行う医療機関への補助	①	19,042	総コスト	38,241	27,866	29,172
②看護の地域ネットワーク推進事業 各保健所単位への推進会議設置による医療と介護の連携を通じた看護職確保及び質の向上	②	5,218	事業費	36,241	25,866	27,172
③認定・専門看護師による地域看護職の実践能力向上支援事業 地域の中小規模病院で勤務する看護師を対象とした実践能力向上研修経費を補助	③	1,993	(うち一般財源)	142		
④看護実践能力強化事業 看護師等養成所の演習資機材購入への補助(5施設)	④	832	人件費	2,000	2,000	2,000
	計	27,085	職員数(人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	実績値	328	376					実績値		4					
	達成率	93.7%	107.4%					達成率		200.0%					
看護の地域ネットワーク推進会議の開催数(回)	目標値	78	78	78		19%	機器整備補助対象施設数(箇所)	目標値	2	5	1			3%	
	実績値	85	83					実績値	2	4					
	達成率	109.0%	106.4%					達成率	100.0%	80.0%					

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								看護職員定着率(%)	目標値
	実績値	90.9	90.3						
	達成率	101.0%	100.3%						

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<p>・産科医不足による周産期医療に従事する人材の不足</p>	<p>今後の事業方針 ・妊娠期から子育て期にわたる助産師のケア能力の向上</p>				



# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	在宅医療を支える看護職員確保定着事業		事業期間	平成23年度～平成 年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～		
	総合評価	<b>A</b>		事業実施課(室)名	医療政策課	評価者	医療政策課長 廣瀬 高博		
	<b>継続・見直し</b>					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実		

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	在宅医療に関わる看護師が不足しており、医療依存度が高い在宅療養者に対する適切な医療的ケアができる質の高い看護職員が十分に確保されていない。	事業の目的	勤務環境の改善につながる管理者の育成及び在宅看護従事者への研修の実施により、在宅医療に従事する看護職員の確保と定着、質の向上を図る。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
① 准看護師研修事業 在宅療養者の日常生活の視点に立った質の高い看護を提供できる准看護師の育成(12回)	①	1,657	総コスト	7,891	7,838	8,062
② プラチナナース生き生きプロジェクト推進事業 退職した病院看護師に対する在宅医療分野の研修および訪問看護等への再就業支援	②	1,649	事業費	5,891	5,838	6,062
③ 訪問看護ステーション管理者育成事業 ステーションの大規模化を推進するための管理者育成研修(4回)及びアドバイザー派遣(5カ所16回)	③	1,619	(うち一般財源)			
④ 介護施設看護職員研修 在宅への移行支援や看取りを含めた質の高い施設内看護が提供できる看護職の育成(12回)	④	913	人件費	2,000	2,000	2,000
計		5,838	職員数(人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	准看護師研修受講者数(人) ※28年度で終了	目標値 実績値 達成率		600 562 93.7%	600 737 122.8%			28%	訪問看護ステーション管理者研修受講者数(人)	目標値 実績値 達成率	70 89 127.1%	70 104 148.6%	70		
体験型研修受講者の再就業数(人)	目標値 実績値 達成率			8 14 175.0%	8		28%	介護施設看護職員研修受講者数(人) ※28年度で終了	目標値 実績値 達成率	800 779 97.4%	800 510 63.8%			16%	<b>a</b>

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
訪問看護ステーション従事者数(人) 【訪問看護状況調査：看護協会調べ】	目標値 実績値 達成率		572 554 96.9%	583 578 99.1%	595		<b>a</b>	退職看護師の在宅医療への再就業支援や訪問看護ステーションの経営力強化により、在宅医療における看護職員の確保及び定着が図られた。

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅看護における特定行為の看護師の受入体制強化</li> <li>研修の受講機会の差による看護の質の地域偏在</li> <li>機能強化型訪問看護ステーションの不足</li> <li>退職看護師の再就業支援</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問看護における特定行為の看護師の効果検証及び周知</li> <li>地域における在宅分野の研修の開催</li> <li>訪問看護ステーションの経営力強化を目指した管理者研修の実施</li> <li>定年退職者(プラチナナース)を活用した在宅医療分野の看護職員の確保</li> </ul>				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	ドクターヘリ運航事業		事業期間	平成23年度～平成 年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～			
				施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実					
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	医療政策課		評価者	医療政策課長 廣瀬 高博			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	年々増加する救急需要への対応やへき地への救急医療の提供のため、継続的な広域救急医療体制整備が求められている。	事業の目的	事故や急病、災害時に医師や看護師が搭乗して救急現場に駆けつける救急医療用ヘリコプター「ドクターヘリ」の運航により、救急患者の後遺症軽減及び救命率の向上を図る。
-------	--	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①ドクターヘリ運航経費補助 ドクターヘリ運航に必要な経費の補助(基地病院：大分大学医学部附属病院) ②ドクターヘリ運航調整委員会 ドクターヘリの運航を円滑で効果的に行うための協議を行う委員会の開催経費	①	241,118	総コスト	392,557	231,072	245,487
	②	481	事業費	389,557	228,072	242,487
	③		(うち一般財源)	13,217	135,566	121,244
	④		人件費	3,000	3,000	3,000
	計		241,599	職員数(人)	0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	ドクターヘリ要請件数(件) ※件数増加が目的ではないため、目標値未記入 運航調整委員会開催数(回)	目標値		680	639				100%	目標値					
実績値			680	639			実績値								
達成率			100.0%	100.0%			達成率								
目標値			1	1	1		0%	目標値							
実績値			1	1				実績値							
達成率			100.0%	100.0%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
要請に対して出動できた割合(%)	目標値		100	100	100		a	大分県防災ヘリや福岡県ドクターヘリと連携し、効果的、安定的な運航体制を確保した。成果指標について、「要請に対して出動できた割合」を算出するにあたり、ドクターヘリ側に要因がないもの(天候不良、重複要請、時間外要請、出動前キャンセル等)は除外して算出する。
	実績値		99.6	99.7				
	達成率		99.6%	99.7%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・救命率の向上のため、大分県防災ヘリや福岡県ドクターヘリと連携し効果的、安定的な運航体制を確保	今後の事業方針 ・ドクターヘリ運航を安定的に実施することにより、広域救急医療体制の強化を推進				

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

繰越がある場合用

別紙2-4

事業名	県立病院精神医療センター整備事業		事業期間	平成28年度～平成32年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～			
						施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	障害福祉課		評価者	障害福祉課長 高橋 基典			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	精神疾患に対する夜間・休日における救急医療への対応や身体合併症患者への専門的医療の提供体制の充実を図るため、本来的にその機能を担う、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に規定された県立の精神科病院の設置が求められている。	事業の目的	精神科救急及び身体合併症治療に24時間365日対応できるよう県立病院精神医療センターを設置し、質の高い専門医療を短期集中的に行うことにより、患者の早期社会復帰とその家族の不安解消を図る。
-------	---	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①県立病院精神医療センター整備事業費補助 精神科救急及び身体合併症治療に24時間365日対応可能な、精神医療センターを整備する県立病院に対する補助	①	27,241	総コスト		29,007	28,875
	②		事業費		9,007	8,875
	③		(うち一般財源)			
	④		(うち繰越額)			4,508
	計	27,241	人件費		20,000	20,000
			職員数(人)		2.00	2.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(32年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(32年度)	評価割合	評価
基本設計の実施(施設) ※28年度で終了	目標値			1			100%	目標値						a	
	実績値			1				実績値							
	達成率			100.0%				達成率							
	目標値							目標値							
	実績値							実績値							
	達成率							達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(32年度)	評価	事業の成果
基本設計の実施(施設) ※28年度で終了	目標値			1			a	本事業は、県立病院精神医療センターを平成32年度中に開設することを目標としており、平成28年度に基本設計を終え、目標に向けて事業の執行を順調に行っている。
	実績値			1				
	達成率			100.0%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・平成32年度中の県立病院精神医療センターの開設	今後の事業方針 ・精神科救急及び身体合併症治療に対応する精神医療センターの平成32年度中の開設に向け、今後も引き続き県立病院に対する補助を実施				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	精神科救急医療システム整備事業		事業期間	平成17年度～平成 年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～			
						施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実			
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	障害福祉課		評価者	障害福祉課長 高橋 基典			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	夜間・休日の緊急の精神科医療ニーズに迅速かつ適切に対応できる精神科救急医療・相談体制が整っていない。	事業の目的	精神科救急電話相談センターの運営や身体合併症患者、措置患者の受入れ体制の整備等により、精神科救急医療体制の充実・強化を図る。
-------	--	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①身体合併症救急対応体制整備事業 【委託先：大分大学医学部】 救急身体合併症患者の受入れ・入院治療体制の整備	①	25,807	総コスト	43,145	43,413	33,566
②精神科救急電話相談センター事業 【委託先：大分県精神科病院協会】 電話相談への対応(平日17時～21時、休日9時～21時)	②	11,049	事業費	41,145	41,413	31,566
③精神科救急医療体制確保事業 【委託先：大分県精神科病院協会】 当番病院体制の整備(休日夜間2病院)	③	5,429	(うち一般財源)	19,116	34,960	25,316
	④		人件費	2,000	2,000	2,000
	計	42,285	職員数(人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	身体合併症対応空床確保数(床)	目標値		2	2	1		61%	当番病院体制整備日数(日)	目標値	366	365	365		
	実績値		2	2				実績値	366	365					
	達成率		100.0%	100.0%				達成率	100.0%	100.0%					
精神科救急電話相談センター開所日数(日)	目標値		366	365	365		26%	目標値							
	実績値		358	363				実績値							
	達成率		97.8%	99.5%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
当番病院体制利用件数(措置入院件数)(件)	目標値		62	62	62		a	すべての案件について対応できている。一方で、夜間・休日の精神科救急医療・相談体制の確保については、本事業で確保できるもの以上に精神科医療ニーズが大きくなってきている。
	実績値		60	59				
	達成率		96.8%	95.2%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間、休日における同日複数案件の搬送や入院等に対する迅速な対応が可能な体制の確保</li> <li>精神科救急相談窓口の夜間、休日の開設時間が限定されており相談体制が不十分</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>夜間、休日の精神科救急ニーズは高いため、継続して事業実施</li> <li>24時間365日の対応が可能な精神科救急相談窓口の設置</li> </ul>				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	難病特別対策推進事業		事業期間	平成 8 年度 ~ 平成 年度	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～	
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実	
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	健康づくり支援課	評価者	健康づくり支援課長 藤内 修二	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	難病は症状が慢性に経過し、経済的な負担のみならず介護等様々な在宅療養サービスの調整が必要であるため、患者本人だけでなく、その家庭の負担の軽減や精神的な負担の軽減を図ることが求められている。	事業の目的	相談を通して、不安の軽減や課題の解決につなげることで、難病患者及びその家族の精神的な負担を軽減させ、生活の質の向上を図るとともに、介護者の難病患者への知識や理解を深めるための研修を実施することにより、難病患者が良質かつ適切な医療を受けられるようにする。特に在宅医療が長期にわたる人工呼吸器装着難病患者やその他の医療的ケアの多い難病患者に対して地域支援ネットワークを構築し、介護者等の負担軽減を図る。
-------	--	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①難病相談・支援センター事業 難病患者等の療養生活における相談・支援、研修の開催、患者会支援 委託先：大分県難病医療連絡協議会	①	4,905	総コスト	9,800	10,759	11,223
②重症難病患者入院施設確保事業 重症難病患者の入院施設の確保 委託先：大分県難病医療連絡協議会	②	3,131	事業費	7,800	8,759	9,223
③難病患者地域支援ネットワーク事業 保健所・地域の医療機関・市町村等の連携による在宅療養支援、患者会による家庭相談員事業	③	992	(うち一般財源)	3,253	4,211	4,674
④難病患者等ホームヘルパー養成研修事業 難病患者等のニーズに対応したホームヘルパーの養成	④	71	人件費	2,000	2,000	2,000
	計	9,099	職員数(人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	難病相談・支援センターの相談件数(件)	目標値	1,000	1,000	1,000			54%	家庭相談事業の訪問相談件数(件)	目標値	10	10	10		
	実績値	708	1,223						実績値	15	10				
	達成率	70.8%	122.3%						達成率	150.0%	100.0%				
重症難病患者入院施設確保事業の相談件数(件)	目標値	500	500	500			34%	難病患者等ホームヘルパー養成人数(人)	目標値	40	40	40		1%	
	実績値	410	797						実績値	41	39				
	達成率	82.0%	159.4%						達成率	102.5%	97.5%				

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
在宅療養支援計画策定件数(件)	目標値		15	15	15		a	難病相談・支援センター事業や重症難病患者入院施設確保事業における相談を契機に、医療機関、地域の関係機関、市町村と連携し、人工呼吸器装着難病患者などの重症入院患者が在宅で療養するための支援計画を策定し、患者やその家族の不安の軽減や安定した在宅療養の継続に寄与している。
	実績値		17	14				
	達成率		113.3%	93.3%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>年々増加傾向にある難病患者や家族等へのきめ細やかな相談対応</li> <li>難病相談員及び難病医療コーディネーターの継続性(定着)</li> <li>難病相談・支援センター研修の受講者数の増加</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>難病相談員等のスキルアップ、定着化および難病相談・支援センターの機能強化</li> <li>難病支援に携わる関係者や患者のニーズに対応した研修の実施</li> <li>在宅療養に対する支援の充実</li> </ul>				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	県立病院対策事業（県立病院）		事業期間	昭和54年度～平成 年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築 ～健康寿命日本一の実現～			
						施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課（室）名	医療政策課		評価者	医療政策課長 廣瀬 高博			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県民医療の基幹病院として高度・専門医療、急性期医療等の診療機能を強化し、併せて政策医療等への取組をさらに進めることが求められている。	事業の目的	県民に対して高度・専門医療、急性期医療等を提供する。
-------	--	-------	----------------------------

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①県立病院負担金 県の保健衛生事務や、がん診療、救急医療などの高度・専門医療、急性期医療等に必要経費について、地方公営企業法に基づき、病院事業会計に対して一般会計から負担金を交付	①	1,204,482	総コスト	1,390,764	1,204,660	1,157,598
	②		事業費	1,390,264	1,204,160	1,157,098
	③		(うち一般財源)	1,382,091	1,197,014	1,156,521
	④		人件費	500	500	500
	計	1,204,482	職員数(人)	0.05	0.05	0.05

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
a	紹介率(%) (他の医療機関からの紹介患者数/初診患者数)	目標値	65	65	76		50%	目標値							a
		実績値	67	77				実績値							
		達成率	102.3%	118.8%				達成率							
	逆紹介率(%) (他の医療機関へ紹介した患者数/初診患者数)	目標値	75	80	91		50%	目標値							
		実績値	83	95				実績値							
		達成率	110.0%	118.6%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
a	1日あたりの患者数(人)	目標値	1,228	1,230	1,272		a	県立病院は県民医療の基幹病院として、民間が取り組むことが難しい救急医療や周産期医療等、高度・専門医療、急性期医療等を担っており、そのような政策医療を県民に継続的に提供することができた。
		実績値	1,282	1,292				
		達成率	104.4%	105.0%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療機関との連携を図り、地域医療支援病院の承認を維持</li> <li>患者の高齢化の進行を踏まえ、医療機関だけでなく介護施設などとも幅広く連携体制を強化</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>周産期、小児、がんなどの高度・専門医療や救急、感染症、災害対策などの政策医療等の医療機能の充実</li> <li>診療報酬の動向を踏まえた収益の確保及び計画的な人材確保と育成</li> <li>地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携を強化</li> </ul>				